

進路だより

2020年5月20日
進路指導部

◇大学・短大の新しい入試制度について

ー今年度より入試制度が色々と変わります。入試制度全般、変更点について説明します。難しく見えるかもしれませんが、入試要項（募集要項）を自分の力で読み取り、間違いなく出願するには、以下の内容を理解しておかなくてはなりません。専門学校についても準じます。

1. 入試の名称の変更

| 新 | ← | 旧 |
|-----------|---|------------|
| 学校推薦型選抜* | | 推薦入試 |
| 総合型選抜 | | A O入試 |
| 一般選抜 | | 一般入試 |
| 大学入学共通テスト | | 大学入試センター試験 |

※「学校推薦型選抜」には指定校推薦、一般推薦、スポーツ推薦などが含まれる。

2. 選抜（入試）の方法

(1) 学校推薦型選抜

- ア) 学力試験：大学の定める試験（小論文・プレゼン・口頭試問・実技・各教科や科目のテスト・資格や検定試験の成績など）、もしくは大学入学共通テスト。
- イ) 調査書：科目の評定、評定平均、出欠席、特別活動（部活動、ボランティア、農業クラブ活動、コンテスト、海外研修など）の記録を詳細に記載。担任の先生が作成する。
- ウ) 推薦書：本人の学習歴や活動歴を踏まえた「学力の3要素*」に関する評価を記載する。担任の先生が作成する。選抜での活用が必須に変わる。**学校長の推薦が必須**…校内の会議で推薦者を決定する。
- エ) 提出書類：志願者が記載した「志望理由書」などの提出も求められる。
- オ) 選抜日程：（出願：10月） 選抜：11月1日以降 合格発表：12月1日以降

※学力の3要素：①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性・多様性・協働性
入試（選抜）では、上記の学力試験や面接、調査書、推薦書、提出書類で学力の3要素を評価し選抜する。

(2) 総合型選抜

- ア) 学力試験：大学の定める試験（小論文・プレゼン・口頭試問・実技・各教科や科目のテスト・資格や検定試験の成績など）、もしくは大学入学共通テスト。従来のA O入試では学力試験を課されないことも多かったが、**学力試験を課すことが必須に変わる**。
- イ) 調査書：科目の評定、評定平均、出欠席、特別活動（部活動、ボランティア、農業クラブ活動、コンテスト、海外研修など）の記録を詳細に記載。担任の先生が作成する。
- ウ) 提出書類：志願者が記載する資料…例：活動報告書、入学希望理由書、学修計画書、自己PR書など。自己推薦による出願であり**学校長の推薦は不要**。
- オ) 選抜日程：出願：9月1日以降 選抜：9月以降
出願の前にエントリーのため体験授業等への参加が求められる。

(3) 一般選抜 **普通科生徒と学科試験の競合となって難易度高く、合格は難しい。**

- ア) 学力試験：**必須** 大学入学共通テスト、各大学独自の学科試験。

- イ) 調査書 : 配点等は各大学の自由(配点なしもあるということ)だが積極的に活用。
ウ) 提出資料: 志望理由書・活動報告書・学修計画書などを積極的に活用。これまでの入試では提出を求められることがなかった。
オ) 選抜日程: 出願: 1~2月 選抜: 1~3月
「大学入学共通テスト」は出願9月末~10月上旬頃、テスト実施は2021年1月16~17日。

〔学校推薦型選抜、総合型選抜で提出が求められる志願者作成資料〕

- ①志望理由書: 学部や大学を選んだ理由を書くもの。どの大学・短大でもほぼ必須となると予想される。
- ②活動報告書: 活動実績(部活動、係、委員会、生徒会、農業クラブ、地域、ボランティア、趣味、学習)に絞って書くもの。
- ③学修計画書: 大学進学後に、どんな内容をテーマに、どんな講義を取り、どんなゼミ(研究室)を候補として考え、大学外でどんな取り組みをしてみたいかを具体的に書くもの。
- ④自己PR書: 資格、活動実績(部活動、係、委員会、生徒会、農業クラブ、地域、ボランティア、趣味、学習)、自己の長所を書くもの。

3. 学校推薦型選抜・総合型選抜の出願におけるルール

(1) 出願できる高校の課程の区分 …本校は「全日制課程・農業科」

- ア) 「農業科」「職業教育を主とする課程」などに限定して募集
⇒ 「普通科」の生徒は出願できない。大学入学共通テストを課さない募集が多い。
(が、国公立大学志願の場合は受験することが本校としての推薦条件)
・小論文・学科テストなどで基礎学力を問う。
- イ) 課程を問わない募集
⇒ 「普通科」の生徒も出願できるので難易度が高い。
・「大学入学共通テスト」を課さない場合、課す場合のいずれもあり。

(2) 「専願」「併願可」の違い …募集要項の出願条件をよく読みなさい。

- ア) 「専願」: 合格したら必ず入学することが出願条件。
・学校推薦型選抜…国公立大学の推薦、私学の指定校推薦はすべて「専願」。公募制推薦では「専願」とする場合、「併願可」とする場合のいずれもある。
・総合型選抜…基本は「専願」である。ごくまれに「併願可」の場合もある。
- イ) 「併願可」: 合格しても、辞退することが可能である。
・私学の公募制推薦は「併願可」も多い。

(3) 出願パターン

- ア) 「専願」(第1志望) + 「併願可」(いわゆる滑り止め)
イ) 「併願可」(第1志望) + 「併願可」(第2志望)
不可: 「専願」(第1志望) + 「専願」(第2志望) は不可(認められない)。
第1志望の入試で不合格が決定した後でないと校内で希望することはできない。

※国公立大学志願の場合は、特に農学・環境系私立4年制大での「併願可」の滑り止め校の組み合わせが限られる難しさがある。

以上の内容をよく理解し、どのように出願・受験するかを各学校の募集要項を取り寄せてよく検討してください。保護者、担任の先生ともよく相談してください。